

平成30年第3回(9月)

宮代町議会定例会

# 一般質問通告書

宮代町議会

通告第 1 号	丸 山 妙 子	議員	………	P 1
通告第 2 号	山 下 秋 夫	議員	………	P 2
通告第 3 号	伊 草 弘 之	議員	………	P 4
通告第 4 号	田 島 正 徳	議員	………	P 6
通告第 5 号	野 原 洋 子	議員	………	P 8
通告第 6 号	丸 藤 栄 一	議員	………	P 1 0
通告第 7 号	角 野 由紀子	議員	………	P 1 3
通告第 8 号	小 河 原 正	議員	………	P 1 5
通告第 9 号	合 川 泰 治	議員	………	P 1 7
通告第 1 0 号	関 弘 秀	議員	………	P 1 9
通告第 1 1 号	唐 沢 捷 一	議員	………	P 2 1

通告第	1 号	平成30年9月 定例会	平成30年 8月14日 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">午前</span> 後 11時 35分受付
-----	-----	-------------	--

平成30年 8月14日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 たし 妙子

## 一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質問事項	質 問 の 要 旨
1. 宮代町こども議会の提案をこの1年で町づくりに反映させたか。	<p>昨年の夏休みに22年ぶりにこども議会が開催された。町内小学校・中学校の児童生徒の代表の皆さん14名が登壇し、町をより良くするための意見や質問、提案がされ、「産業」「教育」「福祉」「道路」「環境」「安心安全」と身近な内容でよく考えられていた。</p> <p>(1) この1年でこども議会の声を反映させた具体例をお聞きしたい。</p> <p>(2) 町長は「宮代町こども議会」を今後も継続的に開催する考えはあるか。</p>
2. 普通教室以外の教室にも早急にエアコンの設置を。	<p>この夏は猛暑の日々が続き、命にかかわる暑さと連日注意喚起されていた。当町は今年から普通教室にエアコンが設置され、保護者・教職員の皆さんから「本当に良かった」と安堵の声をたくさん耳にした。家庭科室、理科室などにもエアコン設置は必要であり、設置を望む。お考えは。</p>
3. 浄化槽の検査、公共下水道への接続対策の強化を。	<p>(1) 各家庭の浄化槽の定期検査の実施状況を町は把握しているか。</p> <p>(2) 各家庭からの公共下水道への接続率と未接続の軒数は。</p> <p>(3) 各家庭からの接続率を町はどう考え、進めて行くか。</p>

通告第 2号

# 2018年 9月 定例会

2018年8月14日 午前・**後**3時20分受付

2018年 8月 14日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 山下 秋夫

## 一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

### 質問事項

### 質 問 の 要 旨

1 子供の医療費を18歳まで窓口払いなしの無料化の実現を

厚生労働省の2017年6月公表の国民生活基礎調査では、親などが貧困の状態にある家庭で育つ18歳未満の子の割合を示す日本の子供貧困率は13.9%、約7人に1人の子供が「貧困ライン」を下まわっています。ひとり親世帯では、貧困率が50.8%で調査では、母子世帯の82.7%が生活が苦しいと答えています。貯蓄がないと答えた母子世帯は37.6%、全世帯平均14.9パーセントの2.5倍です。18歳までの医療費無料化制度は、自治体制度として必要と考えます。

① 現在、15歳に達する日以後の最初の3月31日まで医療費の窓口払いなしの制度ですがこの制度が果たしている役割と意義をお答えください。

② 子供18歳まで医療費の窓口払いなしの無料化が若者の地元定着の契機になるのではないかと。また、子供の医療費無料化は、子育て支援策と子供貧困対策（克服）のために重要な施策と考えるが町の考えは。

③ 近隣での18歳まで（医療費の窓口払いなし）を実施している自治体は。

④ 18歳まで医療費窓口払いなしに引き上げた場合、支給対象人数と予算はどのくらいになりますか。

<p>2 保育所の現状について</p>	<p>① 現在の町内保育所の定員と入所園児数（0歳児未満と各歳児ごとの人数と合計数）をお答えください。同時に、保育施設が足りない町では認識しているのでしょうか。お答えください。</p> <p>② 現在の町内各保育所の正規・非正規ごとに保育士的人数をお答えください（9月1日採用分を含む）。また、保育士の数は足りているとの認識か、お答えください。</p> <p>③ 宮代町は、埼玉県市町村平均より、保育料が高いと思うが町の考えは。</p> <p>④ 保育料が無料になる議論が国や自治体でされているが町の考えは。</p>
<p>3 敬老会の現状について</p>	<p>① 各自治会及び連合会において敬老会を実施しています。町より参加者一人当たり補助金（1000円）が出されていますが、参加ができなかった人分（病気、けが、その他）は補助金が出されていません。何らかの形（例えば町の商品券1000円相当）で対象者全員にお祝いをすることは、できないのでしょうか。町の考えをお聞かせください。</p>

通告第 3 号

# 平成30年9月 定 例 会

平成30年8月15日(午前)・後 9時30分受付

平成30年8月15日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 伊 草 弘 之

## 一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質 問 事 項

質 問 の 要 旨

1. 最近の自然災害に対する町の考え方、対策は大丈夫か。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、想定外のことがあまりにも多くあり、今後の防災対策では想定外を想定しなければならないという教訓が生まれた。しかし、その後平成27年に「平成27年9月関東・東北豪雨災害」が発生。平成28年には熊本地震が発生した。熊本地方でマグニチュード6.5その後28時間後にマグニチュード7.3の地震である。この熊本地震は、同一地域で震度7の地震が28時間の間で2回起こるとい、観測史上初めてのことであった。次いで、平成30年には「平成30年7月豪雨」が発生している。

東日本大震災後において多くの災害が発生したことにより、今までの経験では対処しきれない新たな問題点が指摘されている。当町においても災害対策について更なる検証が必要と考えるが、所見を伺う。

2. 当町におけるタイムライン(防災行動計画)の策定状況と今後の運用方法は。

近年、雨の降り方が局地的で激甚化している。局地的、集中的な豪雨に対して、被害を最小限にするためには、施設整備には限界があり、これからはソフト面の対策としてタイムライン(防災行動計画)を活用した対応が求められている。

当町では、過去に昭和22年のカスリーン台風による大規模な水害を経験している。水害対策としてのタイムライン(防災行動計画)について、当町における策定状況と今後の運用方法について伺う。

3. 業務継続計画を運用するに当たって効果あるものに改善しているか。

平成25年度に策定した宮代町業務継続計画について、総務省消防庁が行った「地方公共団体における業務継続計画策定状況等調査（平成29年6月1日現在）」結果から、以下について伺う

(1) 代替庁舎は特定しているとある。

場所はどこか。また、代替庁舎としての機能は備わっているか。耐震性、通信機能、電算機能、非常用発電機、備蓄品などについて。

(2) 業務継続計画の継続的改善の状況等は未実施とある。

町の考えでは業務継続計画を実効あるものにするために、訓練や問題点の見直し改善が重要としており、地域防災計画との整合性や改善、人事異動に伴う人員配置の変更など「毎年度の確認、修正作業を行いながら、町民の安心・安全と役場サービスの維持に努めていきたい」としている。未実施の理由は。

(3) 重要な6要素について定めていない項目がある。

消防庁から平成29年12月1日付け「地方公共団体における業務継続計画の策定について」の通知の中で、「重要な6要素について定めていない項目がある場合は、受援に関する規定と併せて、その追加を検討すること」とある。受援体制の整備も含めて、その対応は。

4. 総合防災訓練を実施すべきと考えるが。

今までの経験では対処しきれない災害が多く発生しているのが最近の状況である。このことから、このような災害が当町で起こった場合、防災計画の運用も今までの経験では、対応できないことも考えられる。町内を3つの地域に分けた地域防災訓練は既に何回か実績があるので、地域防災計画を検証するにあたっての町全体を訓練区域とした、総合防災訓練を実施すべきと考えるが。見解を伺う。

通告第 4 号

平成 30 年 9 月 定 例 会

平成 30 年 8 月 16 日 午前・後 9 時 10 分 受付

平成 30 年 8 月 16 日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 田島 正徳

## 一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質問事項

質 問 の 要 旨

1. 子ども食堂  
について

全国的に、地域のボランティア団体等が子どもたちに、無料又は安価で栄養のある食事や団らんを提供する取組が、『子ども食堂』等の名称で各地にて開催されています。平成30年7月31日現在において、埼玉県内の『子ども食堂』の数は、84件です。宮代町では、社会福祉協議会が『ゆうやけひろば(こども食堂)』という名称で第2土曜日・第4木曜日の17時から実施しています。以下について伺います。

- ①今年度、宮代町としての支援はどのようにおこなわれていますか。
- ②来年度以降の支援はどのように考えていますか。食材等の必要不可欠な補助金を交付する考えがありますか。



2. 東武動物公園駅東口周辺整備事業について

平成29年8月4日に「東武動物公園駅東口駅前広場」が街路事業として認可されました。用地取得も始まっています。東武動物公園駅東口周辺整備事業について、以下について伺います。

①現在の進捗状況と問題点は、あるのでしょうか。

②今年度の予算1億6,846万円でどの程度の用地を買収する見込みですか。宮代町は、広場周辺の街並みについて、具体的なイメージをどのように描いていますか。活気ある商店街を再構築していくビジョンはありますか。

3. 防災行政無線について

住民の方に防災・防犯等の情報をより速く音声による情報伝達する為に、屋外スピーカーを2箇所増やし48箇所になった防災行政無線です。聞き取れない場合の為に、フリーダイヤル・メール配信等を実施しており、今年度からはテレビ埼玉のデータ放送を使って情報配信サービスも開始しています。以下について伺います。

①住民の方に、「杉戸町・春日部市の放送はよく聞こえる。宮代町の放送は聞こえにくい。」という事を言われます。その原因は、どこにあるのでしょうか。ハード面の差があるのでしょうか。

②多くの市町村で実施している2時30分から3時位の子どもたちの下校見守り依頼の放送は、コストゼロなのに何故実施しないのですか。実施できない理由とは。

4. 防災訓練への中学生の参加について

宮代町主催の防災訓練は年に1回実施されています。この防災訓練は町内の各地区の自主防災会も多数参加して実施されています。以下について伺います。

①平日に被災した場合を想定して、中学生が参加する防災訓練を宮代町は計画していないのですか。

②埼玉県内に中学生が参加する具体的な事例は、ありますか。

通告第 5 号

# 平成30年9月 定例会

平成30年8月17日 午前・**後**2時50分受付

平成30年8月17日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 **野原 洋子**

## 一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質問事項	質問の要旨
1. 豪雨水害対策への対応は。	<p>6月28日から7月8日にかけて、台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨により西日本を中心に広い範囲で甚大な災害が相次いだ。</p> <p>平成30年度になって幸いにも町内においてはゲリラ豪雨や台風による災害は起こっていないが、昨今の異常気象を考えると町内においても例年以上の状況を予測し迅速な対応が望まれる。</p> <p>① 西日本の豪雨被害を教訓として新たに町として対策は立てているか。</p> <p>② 今年度の予算に計上されていた既存水路の浚渫工事および町道96号線嵩上げ工事の進捗は。</p>
2. 熱中症の町内の被害状況は。	<p>7月8月と記録的な猛暑であったが、宮代町では今年から小中学校全学年の教室でエアコンが稼働していて幸いであった。</p> <p>① 教室ではエアコンが稼働し適切な温度で授業ができていたと思われるが、屋外での授業や通学時など生徒だけではなく下校時に付き添ってくださるボランティアの方などにも熱中症被害の報告はなかったか。</p> <p>② そのほかに町内の救急搬送された件数は。</p>

<p>3. 町循環バス新路線の利用状況は。</p>	<p>町の循環バスが新車両になってこの猛暑にも車内のエアコンも効きがよく、窓ガラスもUV加工のようで外の暑さを感じずに快適に乗車できている。利用してみて気づいた降車ボタンの不便さも7月中に改善され、無理なく手の届く位置に増設されたのも早い対応で良かった。</p> <p>① 新車両になったと共に路線が変更され今までなかった百間2丁目と百間4丁目の停留所ができた。この新路線になってからの利用者数の変化や利用者の声を把握しているか。</p> <p>② 新路線を取り入れた反響は。</p> <p>③ 他に停留所の要望は出ていないか。</p> <p>④ バスの時刻表の文字が小さくて見づらいという声を聞いている。対策は。</p>
<p>4. 新しい村の活用方法。</p>	<p>新しい村でバーベキューをしたいという町民の声をよく伺う。イベントなどでは町所有のバーベキューコンロなどを使用して開催しているようだが、町民や近隣の市民の方々にも新しい村に来ていただき、「森の市場結」で買い物をしながらバーベキューを楽しんでもらうことはできないか。</p>
<p>5. 町営駐輪場の防犯対策は。</p>	<p>利用者からゴミの投げ入れや自転車へのいたづらがひどいと聞いている。利用料金を徴収しているのであればもう少し対策の強化が必要ではないか。</p> <p>① 被害状況を把握しているか。</p> <p>② どんな対策をとっているか。</p> <p>③ 有料駐輪場と無料駐輪場では被害の違いはあるか。</p>

# 平成30年9月 定例会

通告第 6号

平成30年8月20日 (午前)・後 8時35分受付

2018年8月20日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 丸 藤 栄 一

## 一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質問事項	質問の要旨
1. 学校給食費の無償化で、すべての子供たちに食のセーフティーネットを	<p>長引く不況のもと、貧困と格差の広がり子供たちにも深刻な影響を与えています。家庭が貧しいために満足な食事がとれず、学校給食が主な食事になっている子供さえ生まれています。</p> <p>学校給食は、戦後間もなく、子供たちの栄養状態の改善を目的に始められ、今日では食育として、人間の生活の基本となる食事、食文化を伝える教育の柱の一つになっています。憲法第26条は、「義務教育は、これを無償とする」と明記しています。この憲法に立てば、学校給食が教育の一環である、このことから無償とすることが基本だと考えます。</p> <p>全国や埼玉県内で学校給食費への補助や無償化を実施する自治体の広がりを受けて、文部科学省は初めて昨年、全国調査を実施しています。調査項目は、無償化のほか、半額補助など一部補助、子供や保護者、地域の変化、予算確保などとなっています。</p> <p>学校給食の無償化について、私どもはこれまで一般質問の中でも取り上げ、実現を求めてきました。十分な栄養がとれず、その後の健康的な生活にかかわるような状況から子供を守るための学校給食は、すべての子供に食事を確保するという点で広い意味での社会保障です。</p> <p>宮代町で学校給食の無償化を実施することは、保護者の負担軽減、少子化対策、食育の推進、教職員の負担軽減という点からも、今こそ思い切って実現することが重要と考えます。</p> <p>(1)学校給食の目標、役割について、教育委員会としての基本的な考えを伺います。</p> <p>(2)実際、保護者が学校教育で年間どのくらいの負担をしているのか、小中学校別になどのようになっていますか。</p>

(3)給食費の過去3年間の未納状況についてはどのようになっていますか。

(4)給食費の徴収と管理の方法はどのようになっていますか。

(5)給食費の無償化は全国的な広がりを見せていますが、県内では全額だけではなくて、一部補助も含めて、63自治体ではどのようになっていますか。

(6)全額を無償にした場合、第2子以降を無償にした場合、また第3子以降を無償にした場合、宮代町ではどのくらいの予算が必要ですか。

(7)教育の観点から食育の推進、義務教育の無償化、教員の負担軽減という点では、無償化は極めて有効な政策だと考えますが、教育長の見解を伺います。

## 2. 高すぎる国保税の引き下げを

国民健康保険制度は今年4月から埼玉県内63市町村の国保を一つに広域化し、埼玉県が国保財政に責任を持つ、国保の都道府県化（都道府県単位化）に変わりました。

宮代町では昨年度、国保税が引き上げられました。この国保税の引き上げは、都道府県単位化がスタートする前年度に前倒しで実施されたものです。

県内の市町村では、どこでも高すぎる国保税を抑えるため、国保会計に一般会計から繰り入れ（法定外繰り入れ）を行って、加入者の負担軽減を行ってきました。これは宮代町でも同様です。

こうした中、8月10日付の全員協議会の協議事項の一つに「国民健康保険税率の見直しについて」という通知が届きました。今回、特に問題にしたいのは、国保税の増税につながる「国保税率の見直し」なのかどうかです。

国保制度は、国保法第1条の規定にあるとおり、社会保障の制度であり、高齢者や非正規労働者など低所得者が多く占める、加入者自身の努力や助け合いでは成り立たないということが前提の制度です。にもかかわらず、相次ぐ社会保障制度の切り捨てによって高すぎる国保税となっています。高すぎる国保税を誰もが払える水準に引き下げることが強く求めるものです。

(1)国保税の見直しは、どのような内容ですか。また、経過も含めて説明を。

(2)国保の加入者は、高齢者や低所得者が多く加入していますが、1世帯当たりの平均所得と、国保世帯主の職業別世帯構成割合はどのようになっていますか。

(3)国保の滞納状況はどのようになっていますか。滞納世帯と滞納額、滞納理由を。

(4)国保税が協会けんぽの保険料に比べて高すぎると考えますが、高すぎるという認識はあるのでしょうか。

(5)国保の都道府県化に当たり、全国知事会など地方からの要望は、「国保の構造問題を解決してほしい」ということでした。引き続き、国へ要求すべきと考えますが。

3. 異常な猛暑と  
中島地内の火災に  
ついて

(6) 県は国保の都道府県化によって、市町村に対し、国保の「赤字削減・解消計画」(法定外繰入れ)について、5年間で解消する計画をつくるよう求めています。この計画が実施されると、加入者の国保税は1世帯平均どのくらいになりますか。

(7) 県の国保運営方針では、子供の均等割の減免は一般会計で補填する対象として県も認めている減免です。子育て世帯への配慮、子育てしやすい宮代を考え、国保の子供を対象とした均等割額の軽減を早急にできないでしょうか。

今年の夏は世界各地で異常な猛暑に見舞われました。日本でも7月23日、熊谷市で国内観測史上最高の41.1度を観測し、東京や京都、名古屋などでも40度に達しました。全国各地で熱中症疑いの救急搬送が相次ぎ、暑さによる死者は全国で40人前後(8月12日現在)にも上ったと聞いています。

全国的に体温超えの「危険な暑さ」に悲鳴が上がる一方、宮代町では幸いにも全小中学校の教室にエアコンが設置され、住民から大変喜ばれています。

(1) 宮代町では異常な猛暑による熱中症疑いの救急搬送や農作物などへの影響は、どのようになっていますか。

(2) 日本近海では温暖化の影響で海水温が上昇し、専門家からは台風の急激な大型化や、かつてない進路をたどる可能性も指摘されています。宮代町への災害の警鐘と捉えた方がいいと考えますが、国や県との連携はどのようになっていますか。

(3) 宮代町では7月中旬に3件続けて火災が発生しました。特に中島地内で発生した1件の火災については、未だに原因が分からないとのことですが、

① どのような火災だったのか、全容を。

② 火災が近所の家屋などに移りましたが、主要な要因は何か。

③ 火災発生から鎮火するまで時間を多く要した理由は何か。

④ 今回の火災は、狭い道路のうえ、水利の確保が困難だったのではとの声もありますが、対応はどのようにされましたか。

⑤ 今回の火災において、今後の教訓として町はどのように捉えていますか。

以上

通告第 7 号

# 平成 30 年 9 月 定 例 会

平成 30 年 8 月 20 日 (午前)・後 9 時 40 分 受付

平成 30 年 8 月 20 日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 角野 由紀子

## 一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質問事項	質 問 の 要 旨
1. 不育症の周知 や患者支援の推 進	<p>不育症とは、2 回以上の流産、死産や早期新生児死亡（生後 1 週間以内の赤ちゃんの死亡）を繰り返して結果的に子供を持っていないことと定義されています。</p> <p>厚生労働省の実態調査では、流産は、妊娠 10～20%の頻度で起こるといわれております。しかし、厚生労働省研究班によると、検査や治療によって、80%以上の方が出産にたどりつけると報告されています。つまり、不育症を知り、適正な検査や治療をすれば、多くの命を守ることができるということです。不育症の治療には多額の費用がかかることから、公費助成を行っている自治体もあります。</p> <p>このようなことから、不育症に悩む方に対して、正確な情報を提供し、心理的な相談や医学的な相談を行い、患者支援の取り組みを行っていくことが必要です。</p> <p>① 不育症について、当町ではどのような認識をお持ちなのか伺います。</p> <p>② 気軽に相談できる窓口体制の充実が必要です。相談窓口と周知啓発をどのように行っていますか。</p> <p>③ 不育症の方の検査や治療の多くが保険適用さ</p>





通告第 8 号

# 平成30年 9 月 定 例 会

平成30年8月20日 午前・後 10時50分 受付

平成30年8月20日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 小河原 正

## 一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	まず、7月の豪雨により、亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた多くの方にお見舞い申し上げます。
1. 新井町長の町政方針について	町長は、様々な機会において町民の声を聴き、町民の声を活かし、将来に渡り、宮代町に住み続けたいと思える、未来ある宮代町を築き上げていくと説明しています。
	現在の一年間は、過去の三年間から五年間に匹敵する時代の流れです。新井町長は、当選後まもなく一年になるが、町民の声はどのような声があったか、そしてその活かし方は。
2. 豪雨対策について	一般質問では、何回か質問している浸水対策です。宮代町地域防災計画の災害予防体制は、確立されているが、但し、ハザードマップは、浸水の想定や規模を記載した地図と思います。
	西日本を襲った記録的な豪雨は、これまでも経験をしたことのない豪雨といわれたが、新たにゲリラ豪雨も多発している現状の気候では、宮代町も警戒しなくてはならない。
	特に、宮代町笠原地区への浸水対策は、甚大な被害が発生しないよう早急に解決を図るべきである。



通告第 9 号

# 平成30年 9月 定 例 会

平成30年8月20日 午前・後 11時50分 受付

平成30年8月20日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 合川 泰治

## 一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 受動喫煙対策	本年7月に改正健康増進法が国会において可決・成立され、行政機関などは敷地内禁煙となりました。これらの改正を受け、今後の町の対応について伺います。
2. 自治会における側溝清掃	側溝清掃については、基本的に各自治会で対応しているが、一部危険な個所（交通量が多いなど）については町で対応しています。しかし、高齢化が進んでいることもあり、側溝清掃の負担が年々増加しているとの声を聞きます。今後、側溝清掃の在り方についてどのように考えているか見解を伺います。
3. マンホールカードへの参入を	最近では、ダムカードやマンホールカードが人気となっており、カードを求めて全国各地からご当地を訪れることに繋がっています。宮代町にも独自のデザインがなされたマンホール蓋があります。これを活用し、交流人口の増加に繋げるためにもマンホールカードへの参入をするべきと考えます。参入について、町の見解を伺います。



通告第10号

# 平成30年 9月 定例会

平成30年 8月20日 午前・**後** 1時30分 受付

平成30年 8月20日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 関 弘 秀

## 一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 農地の集積・集約化・基盤整備への取り組み状況。	農業における課題は、担い手不足・高齢化に伴う遊休農地の増加と山積していると思います。 環境が厳しい中、「農地の集積・集約化」「基盤整備」への取り組みが行われているところかと思えます。 ①「農家意向調査」を実施されておりますが、結果の集計、また、意見等について伺います。 ②モデル地域として2か所選定された場所の取り組み状況について伺います。
2. 感震ブレイカー等設置の推進について	町内においては、3件の火災があり住宅地の密集している地域は、気候状況など加味すると延焼しやすくなるかと思われます。特に、震災等における火災は被害の増大につながると思われます。 ①感震ブレイカー等の設置推進についてお伺いします。 ②設置に対しての補助金交付の考えについてお伺いします。

<p>3. 文書管理の確認・徹底及び改善</p>	<p>今回の税の過徴収金を含め文書管理（通達、各課内文書）の問題が見受けられます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① これまでの経緯を含めどの様に改善されたか。</li><li>② 庁舎内または、各課内のみなどの仕分けについては如何か。</li><li>③ 課の異動があった場合、引継ぎ等は明確か。</li></ul>
--------------------------	--

通告第11号

平成30年9月 定例会

平成30年 8月20日 午前・後 1時50分 受付

平成30年 8月20日

宮代町議会議長 様

宮代町議会議員 唐沢 捷一

一般質問通告書

次の事項について質問したいので、通告いたします。

質問事項	質問の要旨
1. 町民の歩行活動 (運動) 推進について	埼玉県では、平成29年度より県内25市町村と連携して「埼玉県コバトン健康マイレージ」をスタートさせました。健康保持のために歩くことの重要性はもとより「医療費抑制」をはじめ、町民同士の挨拶や会話が増える等、その効果には大きいものがあります。そこで、以下、現状と今後の具体的な取り組みについて、お伺いいたします。 イ) 町内の「コバトン健康マイレージ」の実績と現状は。 ロ) 家庭や地域、特に子供たちへの歩育の普及活動の考えは。 ハ) 小・中学校に、歩行に関する指導や啓発活動実施の考えは。
2. 道路行政について	安心・安全な道路づくりに取り組んできた宮代町ですが、現在、高齢社会のなかで、子供から身体の不自由な方まで誰にも優しい道路づくりに一層取り組んでいただきたく、以下、町内道路環境の整備について、お伺いいたします。 イ) 町道(県道含む)の危険箇所を把握しているか。 ロ) 利用者(通勤通学)の安心・安全確保対策は進んでいるか。 ハ) 新しい道路整備が進んでいるが、安全対策は万全か。
3. 新井町政スタート から一年経過について	昨年10月、新井町長誕生から早や一年になります。町政に取り組んできたなかでの率直な感想と、新たな決意をお伺い致します。 イ) 町のリーダーとして「地方自治」をどのように理解したか。

